

寒川 恒夫 SOGAWA Tsuneo

そうがわ つねお

職位	特任教授
取得学位	学術博士(昭和45年3月)筑波大学
最終学歴	筑波大学大学院体育科学研究科博士課程修了
専門分野	スポーツ人類学、スポーツ史
主な担当科目	スポーツ文化論、スポーツ文化史、スポーツと教育、スポーツ人類学、教養講座B(スポーツの歴史と文化)
研究テーマ	スポーツの文化研究
所属学会	日本体育学会、日本スポーツ人類学会、アジアスポーツ人類学会

教育・研究内容

「文化としてのスポーツ理解」

アジア(とりわけ日本、中国、韓国、台湾、タイ、スリランカ、インドなど)を中心にして世界で行われる民族スポーツをとりあげ、その文化資源(とりわけ観光資源)としての利用可能性について、民族スポーツの文化的内容はどのようなものであるかのフィールドワーク情報をもとに研究しています。

著書

1 図説スポーツ史	平成3年6月	朝倉書店
2 相撲の宇宙論	平成5年11月	平凡社
3 スポーツ文化論	平成6年3月	杏林書院
4 相撲の人類学	平成7年10月	大修館書店
5 21世紀の伝統スポーツ	平成8年4月	大修館書店
6 民族遊戯大事典	平成10年7月	大修館書店
7 遊びの歴史民族学	平成15年9月	明和出版
8 教養としてのスポーツ人類学	平成16年7月	大修館書店
9 日本武道と東洋思想	平成26年11月	平凡社
10 21世紀スポーツ大事典	平成27年1月	大修館書店
11 近代日本を創った身体	平成29年2月	大修館書店
12 よくわかるスポーツ人類学	平成29年3月	ミネルヴァ書房
13 アジア稲作民伝承遊戯の文化史	平成30年2月	明和出版

学術論文

1 自然民族の儀礼球戯の研究(修士論文)	昭和48年3月	東京教育大学大学院体育学研究科
2 稲作民伝承遊戯の文化史的考察－東アジア、東南アジアを中心にして(博士論文)	昭和56年3月	筑波大学
3 イヌクジュアク・イヌイトの民族遊戯変容(査読付)	平成10年1月	『スポーツ史研究』11号
4 与那原大綱引にみる文化変化(査読付)	平成10年5月	『体育学研究』43巻1号

- | | | | |
|---|--|---------|--|
| 5 | Ethnic sport, its concept and research perspectives(査読付)
(民族スポーツ、その概念と研究展望) | 平成18年5月 | "International Journal of Sport and Health Science", vol.4 |
| 6 | 総説論文: 武術伝書の語り方(査読付) | 平成29年3月 | 『体育史研究』第34号 |

翻訳

- | | | | |
|---|--|---------|-------|
| 1 | 原著者:H.シェーラー
邦訳表題:ガジュ・ダヤク族の神観念 | 昭和54年4月 | 弘文堂 |
| 2 | 原著者:K.プランチャード、A.チェスカ
邦訳表題:スポーツ人類学入門 | 昭和63年2月 | 大修館書店 |

受賞

- | | | | |
|---|---|----------|--------|
| 1 | 日本体育学会学会賞受賞 受賞対象論文:「与那原大綱引にみる文化変化」
体育学研究43巻1号(pp.22~32),1998 | 平成11年10月 | 日本体育学会 |
| 2 | 日本体育学会学会賞受賞 受賞対象図書:「日本武道と東洋思想」
平凡社、平成26年11月 | 平成27年8月 | 日本体育学会 |

その他(社会活動等)

- 1 昭和63年4月 文部科学省「体育・スポーツ施設の整備の在り方に関する調査協力者」(平成元年3月まで)
- 2 平成5年4月 日本体育協会国民スポーツ専門委員会委員(平成7年3月まで)
- 3 平成6年6月 文部科学省「冬季オリンピック読本作成協力者」(平成7年3月まで)
- 4 平成7年8月 東京都スポーツ振興審議会委員(平成11年7月まで)
- 5 平成9年4月 文部科学省「ナショナルトレーニングセンターの在り方に関する調査研究協力者」(平成12年3月まで)
- 6 平成9年4月 日本体育協会国際交流専門委員会委員(平成21年3月まで)
- 7 平成10年4月 文部科学省「中学校学習指導要領(保健体育)の改善に関する調査協力者」(平成11年3月まで)
- 8 平成18年8月 日本学術会議連携会員(現在に至る)
- 9 平成26年2月 全日本柔道連盟評議員(現在に至る)